

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立 春日出小学校	学校	児童数	40
-------------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.20	17.73	29.67	37.13	39.04	9.63	152.20	18.80	48.80
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.29	21.74	33.54	38.46	35.08	10.02	149.06	11.40	53.70
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

体力合計点で、男子は全国平均を3.79ポイント下回り、大阪市平均を2.33ポイント下回った。女子は、全国平均を0.58ポイント下回り、大阪市平均を1.03ポイント上回った。前回の結果と比べると男子は、全国平均と大阪市平均とともに差がひらいているが、女子は全国平均と大阪市平均をどちらも上回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答においては、男子の肯定的回答が全国平均・大阪市平均をそれぞれ6.2%、5.9%下回っているが、女子の肯定的回答はそれぞれ10.3%、12.5%上回っている。また、一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均・大阪市平均を約10%上回ったが、女子は全国平均・大阪市平均を約2%下回るという結果だった。

測定種目別に見ると、男子は立ち幅跳びで全国平均・大阪市平均を上回っている。しかし、立ち幅跳び以外の種目は、すべて全国平均・大阪市平均を下回った。特に、ソフトボール投げ、20mシャトルランで大きく下回っていることがわかる。女子は、上体起こしと立ち幅跳びで全国平均・大阪市平均を上回った。反復横とび、20mシャトルランでは大阪市平均は上回ったが、全国平均には届かなかった。長座体前屈、ソフトボール投げにおいては、他の種目と比べると全国平均・大阪市平均を大きく下回った。

この結果から、男女で差はあるが、どちらも「跳ぶ力」は向上していることがわかる。しかし、「持久力」「巧緻性」「投げる力」に課題があると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度も、前年度と同様に、運動委員会を中心に児童の体力づくりに取り組んできた。体育の学習中だけではなく、休み時間や放課後にも児童が体を動かそうと思えるように、「春日出SASUKE」や「春日出みんな遊び」を運動委員会が考えて実施した。「春日出SASUKE」では、遊具を使った運動をレベル別に考え、それぞれの遊具にポスターを掲示した。「春日出みんな遊び」では、運動量が増える遊びとして「ふえ鬼」を選び、休み時間に2学年ずつ実施した。運動場には、縄跳び台を設置したり、的当てを設置したりすることで、運動場に出て遊ぶ児童が増えた。また、体育の備品を新しく買い替えたり、追加したりして、運動できる環境を整えているところである。

12月と1月には、なわとび週間を実施した。15分休みを使い、12月には個人技に挑戦、1月にはリズムなわとびに取り組んだ。リズムなわとびは、今年度も昨年度と同様にサザエさんの曲に合わせて3分間跳び続けた。体力向上のため、15分休みだけでなく、体育の時間にもリズムなわとびに取り組んだ。リズムなわとびは「持久力」の向上にもつながるので、今後もこの取り組みを続けていく。

今後も上記のような取り組みを続けていくとともに、教員、運動委員会を中心に、児童の運動時間が増えるような取り組みを考えていく必要がある。また、運動が苦手な児童でも楽しいと思えるような授業を考えたり、短い時間でできて運動能力が向上する運動を授業に取り入れたりしていく必要がある。そのために、体育部を中心に教員研修などを行っていく。